

生き物文化誌学会 第16回学術大会（東京大会）プログラム

日時：2018年6月23日（土）*会期は23日のみとなりましたので、ご注意ください。

場所：立正大学品川キャンパス 石橋湛山記念講堂ほか

日程：9:30 受付【石橋湛山記念講堂】

9:30～17:30 ポスター発表【石橋湛山記念講堂】

9:30～17:30 河口慧海旧蔵資料展示【石橋湛山記念講堂】

9:50～11:50 一般発表【石橋湛山記念講堂】【3号館1階311教室】

12:00～13:15 理事会・評議員会【1号館4階 第7会議室】

12:15～12:45 仏像修復室・製作室見学ツアー（定員20名、先着順9:30から受付）

13:00～13:30 ポスター発表解説【石橋湛山記念講堂】

13:30～17:20 シンポジウム【石橋湛山記念講堂】

17:30～18:20 総会【石橋湛山記念講堂】

18:30～20:00 交流会【6号館 学生食堂】

一般発表【石橋湛山記念講堂】 *さくら基金研究発表

- 9:50～10:10 1. 日鷹一雅（愛媛大学大学院農学研究科）・延安 勇（世羅・御調自然誌研究会）・岩見潤治（広島県有機農業研究会）：農業における生き物との関係史（Ⅱ）有機・減農薬と侵略的外来種と絶滅危惧種の関係について
- 10:10～10:30 2. 高野哲司（総合研究大学院大学）：日本の都市の庭における植物景観と植物利用—東京都台東区谷中の事例
- 10:30～10:50 3. 増野高司（総合研究大学院大学）：花見と場所取り—井の頭公園の事例*
- 10:50～11:10 4. 辻 貴志（佐賀大学大学院農学研究科）：フィリピン・ラグナ州におけるスイギュウ乳のチーズ加工と行商の事例*
- 11:10～11:30 5. 渡辺和之（阪南大学国際観光学部）：ヒンドゥー教の秋の大祭デザインとチャングラ山羊
- 11:30～11:50 6. 阿部朱音（京都大学大学院情報学研究科）秋道智彌（総合地球環境学研究所）・市川光太郎・荒井修亮（京都大学フィールド科学教育研究センター）：ジュゴンの民族分類と伝統的な利用法～インド洋・太平洋における事例から～

一般発表【第2会場 3号館1階311教室】

- 9:50～10:10 7. 尾寄悌之（自営業）：アヤメ科三種 カキツバタ、アヤメ、ハナショウ
- 10:10～10:30 8. 松平俊久（早稲田大学文学学術院文化構想学部）：怪物表象を媒介とした歴史の記憶化—近世ヨーロッパ期の怪物前兆譚にみる思考体系をめぐって
- 10:30～10:50 9. 山崎慶太（竹中工務店）・横田 樹広（東京都市大学）：市街地内に復元整備された谷戸におけるニホンアカガエルの生息適応状況の把握と保全管理提案

- 10:50～11:10 10. 保科英人（福井大学教育学部）：明治・大正・昭和戦前期の新聞記事に見る近代文化堂学
- 11:10～11:30 11. 浅原正和（愛知学院大学教養部）：海を渡ったエゾタヌキタイプ標本の行方—20世紀前半における米国動物園の動物収集意欲と動物園における記録の価値
- 11:30～11:50 12. 伊藤 謙(大阪大学総合学術博物館)・石橋隆(益富地学会館)・近松真定(顕証寺)・渡辺克典(鳥取県立博物館)：顕証寺の寺宝“蓮如上人御救済大蛇骨”の調査

ポスター発表【石橋湛山記念講堂】

1. 御領奈美・森久保俊満（東海大学）：外山亀太郎博士の研究と奥州本場2
2. 辻 貴志（佐賀大学大学院農学研究科）・Chanthaly Luangphaxay（ラオス国立公衆衛生学研究所）・藤村美穂（佐賀大学大学院農学研究科）：変容するラオス南部の少数民族オイの水田漁撈
3. 吉村健司・青山 潤（東京大学 大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター）：三陸地域においてサケは身近な魚か
4. 遠藤 仁（人間文化研究機構・秋田大学）：インド北西部における輓獣牽引車とその変容
5. 増野高司（総合研究大学院大学）：バンコクにおける牛乳利用
6. 岩崎 望・原 日菜子・李 盛源（立正大学地球環境学部）・嶋田昌夫・白石 充（筑波大学附属坂戸高等学校）：炭素・窒素安定同位体比分析による家禽の餌料判別—認証制度への応用を目指して
7. 岩崎 望・李 盛源・渡邊みなみ（立正大学地球環境学部）・秋田貴廣・野坂知世（立正大学仏教学部）・笹岡直美（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター）・石崎温史（理研計器株式会社）：炭素・窒素安定同位体比分析と蛍光 X 線分析による膠の原料判別

シンポジウム「絶滅危惧種を喰らふ」【石橋湛山記念講堂】

- 13:30～13:35 会長挨拶：陽 捷行（生き物文化誌学会）
- 13:35～13:50 主旨説明：岩崎 望（立正大学）
- 13:50～14:20 「喰らふ」ことで「守る」—伝統猟は絶滅危惧を生み出すか？
アフリカの事例から—：岡安直比（日本モンキーセンター）
- 14:20～14:50 ホッキョククジラとアラスカ先住民イヌピアット：
岸上伸啓（人間文化研究機構・国立民族学博物館）
- 14:50～15:20 絶滅危惧種の水産物：食べて守るか、食べずに守るか：
松田裕之（横浜国立大学）
- 15:20～15:40 休憩
- 15:40～15:50 野生生物の国際取引の観点から：若尾慶子（トラフィックジャパンオフィス）
- 15:50～16:00 仏教の立場から食を考える：佐々木一憲（立正大学）
- 16:00～17:20 パネルディスカッション
モデレーター 秋道智彌（山梨県立富士山世界遺産センター）